

## オートSUM機能を使う

表計算ソフトで使用頻度が圧倒的に高い関数でしょう。

	A	B
1	555	
2	333	
3	123	
4	666	
5		
6		
7		
8		
9		
10		

A列に数値が並んでいますが  
この合計を出すときに使用します。

合計を表示させたいセルをアクティブにし



をクリックすると、Calcは  
合計を出したいセル群を予測して、  
選択します

	A	B	C	D
1	555			
2	333			
3	123			
4	666			
5	=SUM(A1:A4)			
6				
7				

選択範囲は数式入力ボックスにも表示され  
編集可能です。

A1:A4 はその間の A2,A3も含む  
という意味の表記です。

	A	
1	555	
2	333	
3	123	
4	666	
5	1677	
6		

Enterを押下すると合計が計算されて表示されました。

では合計の表示をしたいセルが離れていて、Calcが推測できない場合はどうでしょう。



をクリックすると、範囲が指定されていない状態で表示されます。

	A	B	C	D
1	555			
2	333			
3	123			
4	666			
5				
6				
7		=SUM()		

	A	B	C	D
1	555			
2	333			
3	123			
4	666			
5				
6				
7				
8				

計算したいセルを選択します。

	A	B	C
1	555		
2	333		
3	123		
4	666		
5			
6			
7		1677	
8			

Enterを押下すると、ちゃんと合計が表示されました。

#### 応用編(初級)

【Ctrl キー】を押下しながらクリックすると、セルは一つずつ選択されるので、飛び飛びのセルの合計も計算することができます。

\* 同一ブック別 sheet のセルも選択可能で、計算に反映されます。(串刺し計算—後述)